

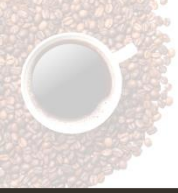


2020年12月期 2Q 決算説明資料

東証一部 2597

株式会社ユニカフェ

2020年1月1日～2020年6月30日



決算の概況

～連結～

売上高 73億12百万円、営業損失 2億82百万円

特別損失21億70百万円を計上（次ページ参照）

（百万円）

	2019年12月期 2Q (2019年1月1日～6月30日) (連結)		2020年12月期 2Q (2020年1月1日～6月30日) (連結)	
		対売上高比		対売上高比
売上高	9,647	100.0%	7,312	100.0%
営業利益又は 営業損失（△）	4	0.4%	△282	△3.9%
経常損失（△）	△2	△0.0%	△272	△3.7%
四半期純損失（△）	△1	△0.0%	△2,191	△30.0%
E B I T D A	207	2.1%	△4	△0.1%
R O E	0.0%		△31.7%	

特別損失の計上について

◆ 当第2四半期連結累計期間において減損損失を計上 【減損損失を認識した資産グループの概要】

(百万円)

場所	用途	種類	金額
東京都千代田区等	コーヒー関連事業用資産	のれん	222
		顧客関連資産	920
		土地	94
		その他有形固定資産	380
		その他無形固定資産	44
東京都港区等	コーヒー関連事業用資産	のれん	439
		有形固定資産	43
		その他無形固定資産	24
合計			2,170

【減損損失の認識に至った経緯】

新型コロナウイルス感染拡大の影響を踏まえてキューリグ関連事業及びアートコーヒー事業の今後の事業計画の見直しを行い、将来収益に関する不透明感が高まったことを踏まえて、回収可能性を慎重に検討した結果、減損損失を計上しております。

連結PLの内訳

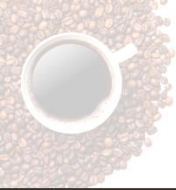
(百万円)

	2020年12月期 2Q (2020年1月1日～6月30日)								
	(当社)	対売上高 比	(アート コー ヒー)	対売上高 比	(カップ ス)	対売上高比	(連結調 整)	(連結)	対売上高 比
売上高	4,226	100.0%	3,007	100.0%	203	100.0%	△124	7,312	100.0%
営業損失 (△)	△94	△2.2%	△28	△1.0%	△96	△45.7%	△63	△282	△3.9%
経常損失 (△)	△86	△2.0%	△26	△0.9%	△96	△45.6%	△63	△272	△3.7%
四半期純損失 (△)	△2,320	△54.9%	△540	△18.0%	△212	△100.3%	880	△2,191	△30.0%

※当第2四半期連結会計期間より、株式会社カップスを連結の範囲に含めております。

自己資本比率は前連結会計年度末比1.5%p上昇し49.5%
(百万円)

		2019年12月期 (連結)	2020年12月期 2Q (連結)	増減額
資産の部	流動資産	8,161	5,636	△2,524
	固定資産	8,531	6,092	△2,438
資産合計		16,692	11,729	△4,963
負債の部	流動負債	4,995	2,547	△2,448
	固定負債	3,677	3,274	△402
	負債合計	8,673	5,822	△2,851
純資産の部	株主資本	8,016	5,802	△2,213
	評価・換算差額等合計	2	2	△0
	純資産合計	8,019	5,906	△2,212
負債純資産合計		16,692	11,729	△4,963
自己資本比率		48.0%	49.5%	+1.5%p



決算概況：連結CF

(百万円)

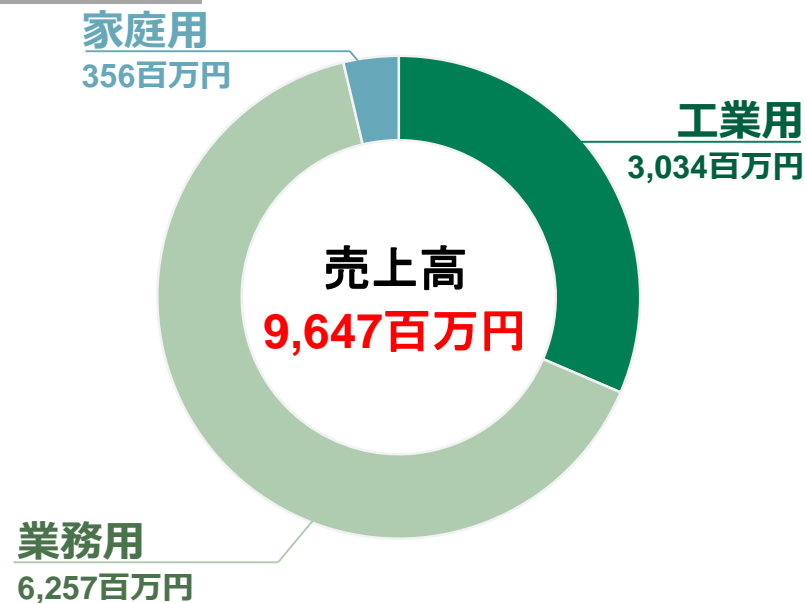
	2019年12月期 2Q (1月1日~6月30日) (連結)	2020年12月期 2Q (1月1日~6月30日) (連結)
営業活動による キャッシュ・フロー	471	△883
投資活動による キャッシュ・フロー	△1,941	28
財務活動による キャッシュ・フロー	1,959	△282
現金及び現金同等物の 増減額	490	△1,137
現金及び現金同等物の 期末残高	2,920	1,789

分野別 サマリー(連結)

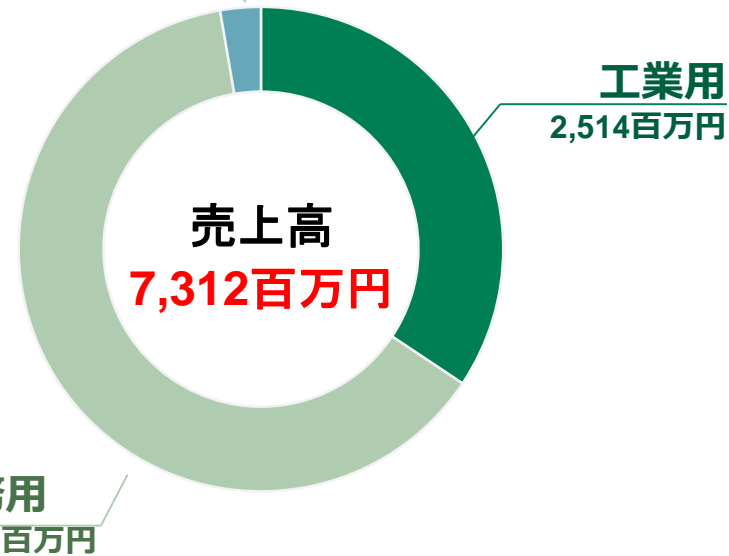
2019年12月期2Q 連結 (2019年1月1日～6月30日)

2020年12月期2Q 連結 (2020年1月1日～6月30日)

売上高



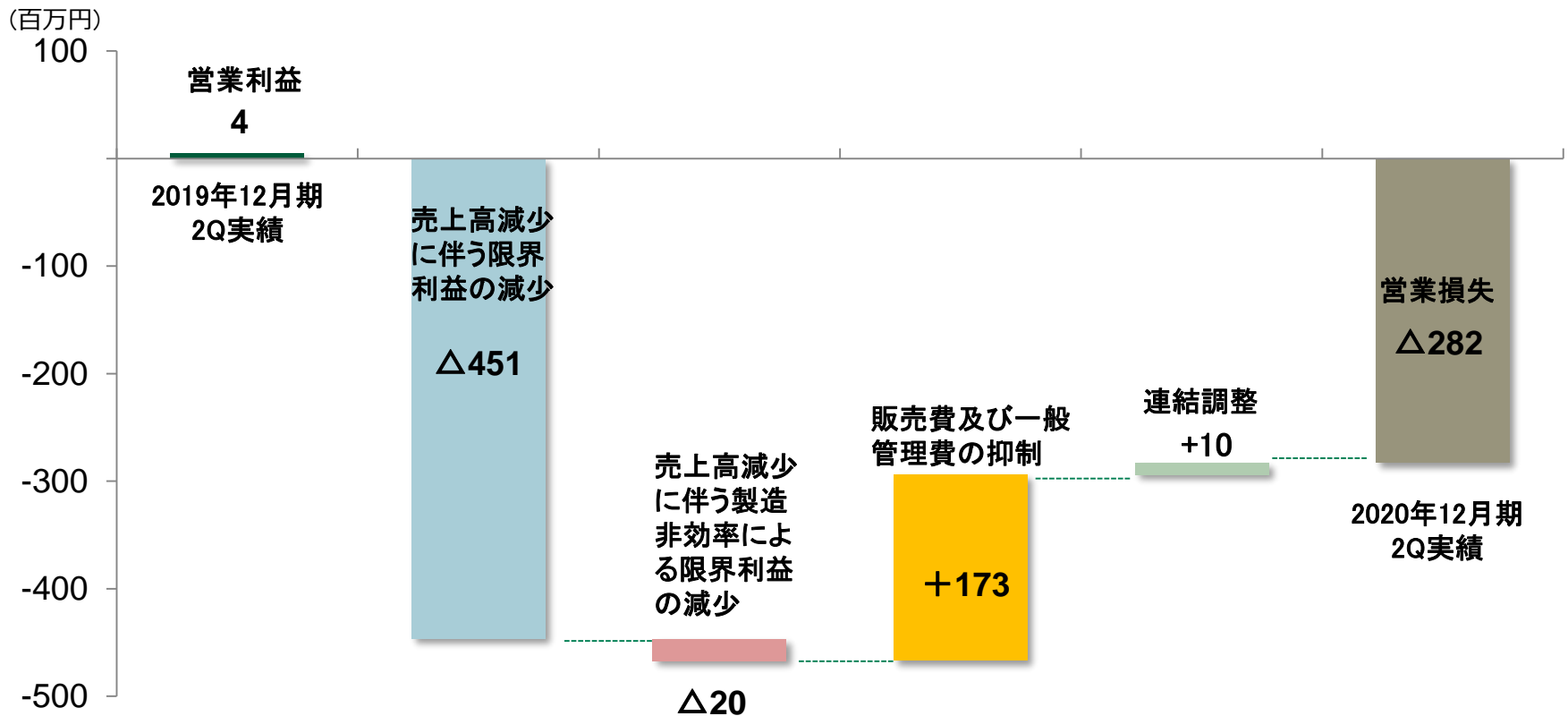
家庭用
198百万円

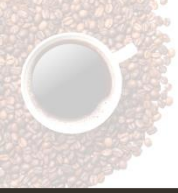


新型コロナウイルス感染拡大を受けた、外出自粛や飲食店の営業時間短縮要請により、業務用事業の主要取引先であるカフェ・レストラン・コンビニエンスストアやオフィス・ホテル等のコーヒー需要が落ち込み、大幅に減収

営業利益の増減分析(連結)

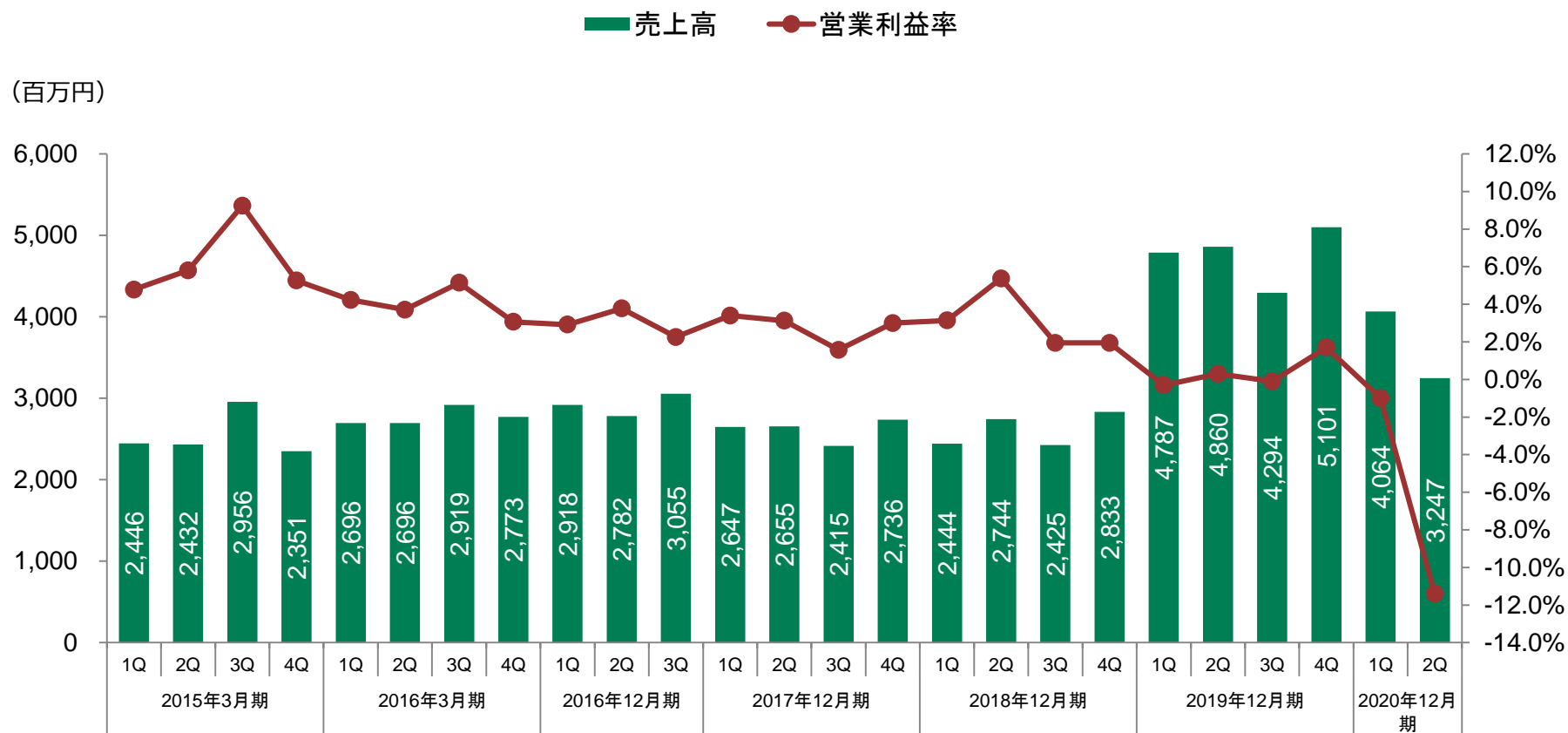
当第2四半期連結累計期間の営業損失 2億82百万円





主な指標

四半期業績の推移



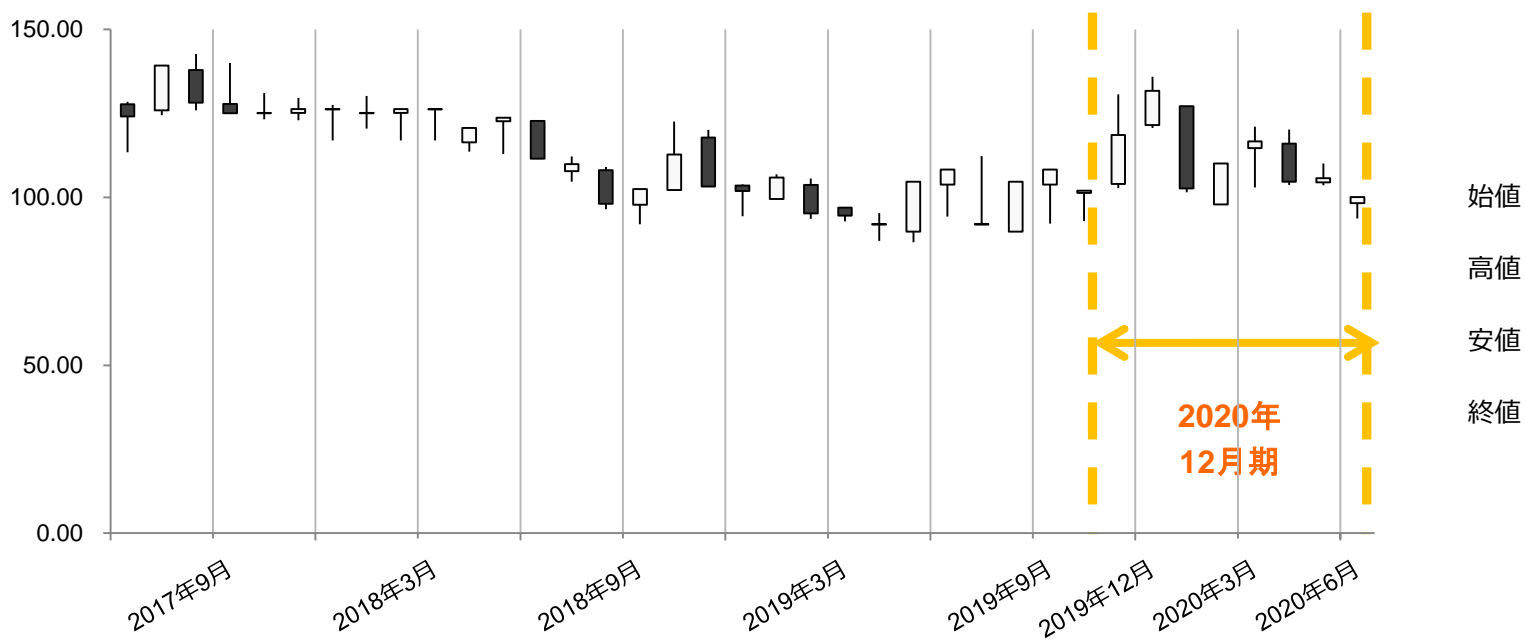
※1. 2016年12月期は決算期変更により、2016年4月1日から12月31日までの9ヶ月決算となっております。

※2. 2019年12月期より連結決算となっております。

低い水準で推移しているが、
為替変動により先行きは不透明な状況

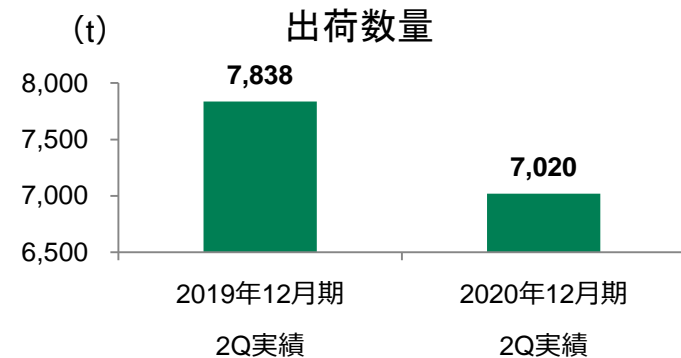
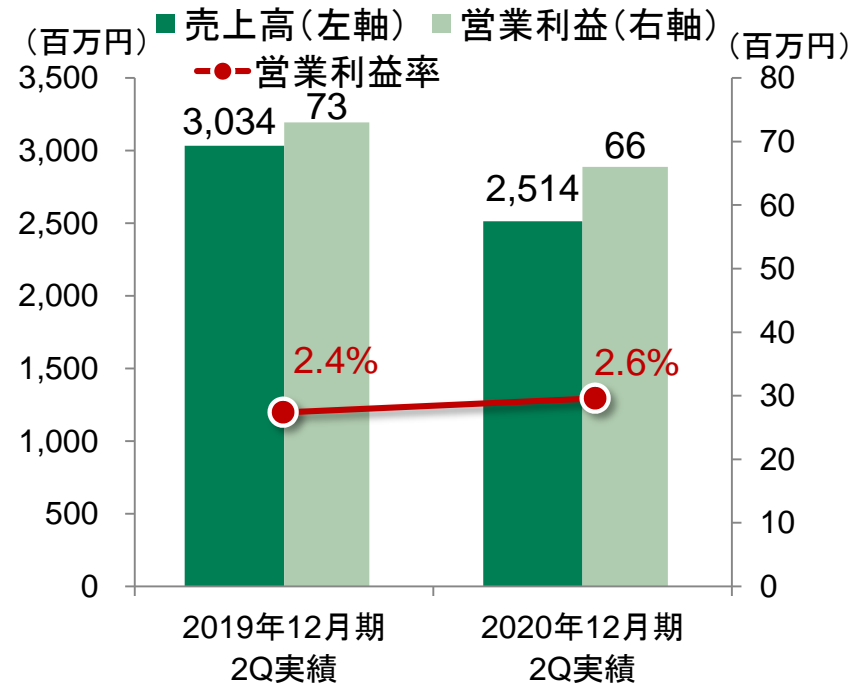
NYコーヒー相場

(¢/ポンド)



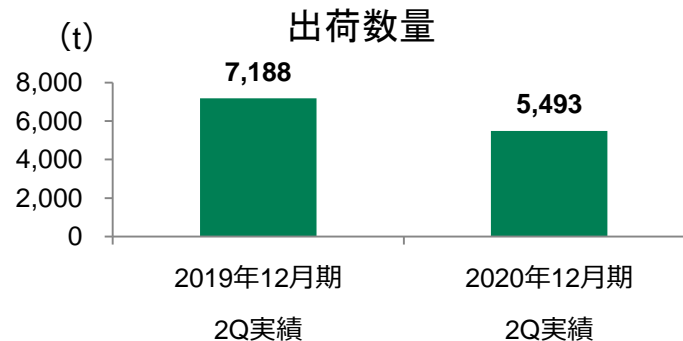
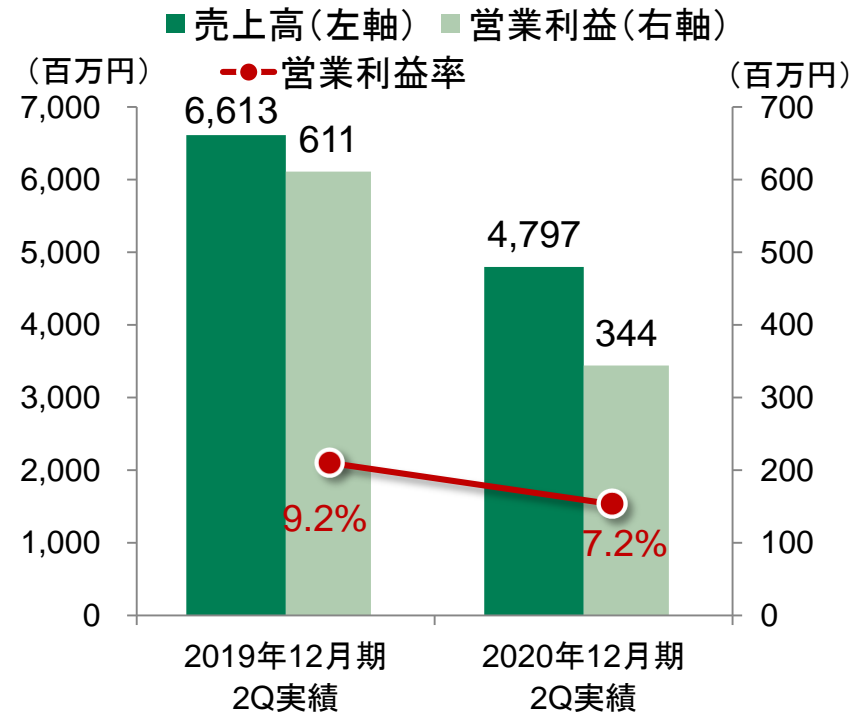
チャンネル別の業績(工業用)

- 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛に伴い、各主要大手メーカーの売上高・出荷数量ともに減少



チャネル別の業績(業務用)

- 新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛や飲食店に対する営業時間短縮要請により、外食需要が低迷したことが大きく影響し、売上高、出荷数量ともに減少



◆ 当社グループの事業継続体制

BCP（事業継続計画書）に基づき、

- ① 全従業員およびその家族の生命・健康維持を最優先とする。
- ② 社会への影響を配慮し、可能な限り感染者増加を防止する。
- ③ 社会・お客様から求められる商品・サービスの継続的提供のための努力をする。
- ④ 経営基盤の維持に努める。

◆ 具体的な取り組み

【営業・管理部門】

- ① 在宅勤務及び時差出勤の促進(出勤率50%未満)
- ② 新しい働き方の促進（オンライン会議の活用、ペーパーレス化への取り組み強化）
- ③ 事務所内に飛沫防止パーテーション設置

【生産部門】

- ・2シフト体制勤務を継続し、従業員の接触を減らす



- ◆ 2020年8月14日開催の取締役会において、運転資金を用途として、資金の借入を行うことを決議

【借入の概要】

1. 借入先の名称	株式会社三菱UFJ銀行
2. 借入金額	1,000百万円
3. 借入条件	固定金利
4. 借入の実施時期	2020年8月28日（予定）
5. 借入の返済期限	2025年8月27日（予定）
6. 担保提供資産又は保証の内容	なし

- ◆ 2020年7月21日開催の取締役会において、生産能力増強に向けた設備投資について決議

【目的】

株式会社アートコーヒーの生産拠点である山梨工場で製造する製品の一部を、当社神奈川総合工場でも製造できる体制を構築するため

設備投資の概要	
所在地	神奈川県愛甲郡愛川町中津字桜台4026-9 株式会社ユニカフェ神奈川総合工場
内容	焙煎豆包装ライン導入等
設備投資の額	539百万円（予定）
稼働開始時期	2021年8月（予定）

当該設備投資における2020年12月期の連結業績に与える影響は軽微であります。



今後の戦略

現在、コロナ禍等の経営環境変化に伴い、ユニカフェグループの早期収益回復・向上に向けた2021年以降の中期経営計画を策定しております。

その内容がまとまり次第、速やかに開示いたします。



免責事項

本資料に記載の内容は、過去及び現在の事実に関するものを除き、当社が現時点で入手可能な情報及び仮説に基づいて判断されたものであり、当該仮説や判断に含まれる不確定要素や、将来の経済環境の変化等により影響を受ける可能性があり、結果として当社の将来の業績と異なる可能性があります。

なお、本資料における将来情報に関する記述は上記のとおり本資料の日付(またはそこに別途明記された日付)時点のものであり、当社は、それらの情報を最新のものに随時更新するという義務も方針も有しておりません。

また、本資料に記載されている当社以外の企業等にかかわる情報は、公開情報等から引用したものであり、かかる情報の正確性・適切性等について当社は何らの検証も行っておらず、また、これを保証するものではありません。

本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。

インサイダー取引に関するご注意

企業から直接、未公開の重要事実の伝達を受けた投資家(第一次情報受領者)は、当該情報が「公表」される前に株式売買等を行うことが禁じられています(金融商品取引法166条)。

同法施行令第30条等の定めにより、二つ以上の報道機関に対して企業が当該情報を公開してから12時間が経過した時点、または金融証券取引所に通知しかつ内閣府令で定める電磁的方法(TDnetの適時開示情報閲覧サービスおよびEDINET公開WEBサイト)により掲載された時点を以って「公表」されたものとみなされます。